

今週（2月2日から2月6日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コール市場は、引き続きビッドサイドの調達ニーズが堅調に見られた。
2日(月)から5日(木)までの無担保コールO/N物の加重平均レートは、試し取りが実施された影響により3日(火)こそやや上昇したものの、それ以外の日では0.727%で安定的に推移し、6日(金)も概ね同水準での取引が中心となった。

ターム物に関しては、ショートターム物(1～2W)で0.78～0.85%程度の出合いが散見された。一方で、ロングターム物(2～3M)については、年度末を控え、ビッドサイドのニーズは散見されたものの、オファーが乏しく閑散とした状況となった。

日銀当座預金残高は、465兆円台半ばから始まったものの、2年債・10年債・30年債の発行、税・保険料揚げなどにより大きく減少する展開となった結果、454兆円強での着地見込みとなった。

●債券レポ市場

今週のGC T/N物の出合い水準は、0.745～0.755%近辺で推移した。
SCは、カレント銘柄近辺やチーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、6Mゾーンが軟調に推移した。
6日(金)に実施された3M物入札は事前予想に比べ強い結果となったが、結果発表後のセカンダリーでは特段の出合いは見られなかった。

●CP市場

今週のCP市場は、鉄鋼、卸売業、電気・ガス業など複数の業態で大型発行が行われた。
市場残高は、26兆円台半ばでの推移となり、先週末対比で4,000億円程度増加した。
発行レートは、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
2/2 (月)	52,655.18	2.230	155.24	0.727	0.750	4,656,000
2/3 (火)	54,720.66	2.255	155.55	0.730	0.747	4,637,700
2/4 (水)	54,293.36	2.245	156.03	0.727	0.746	4,545,000
2/5 (木)	53,818.04	2.225	156.79	0.727	0.749	4,556,500
2/6 (金)	54,253.68	2.230	156.76	0.728	0.750	4,543,900

来週（2月9日から2月13日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー（※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
2/9 (月)	12月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30) 12月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 1月の景気ウォッチャー調査(内閣府 14:00)	TDB6M 2/10発行 38,000億円			
2/10 (火)	1月のマネーストック(日銀 8:50)	10Y物連 2/12発行 2,500億円	国有林野借入 2/25借入 949億円		12月の米小売売上高 11月の米企業在庫
2/11 (水)	建国記念の日				1月の米雇用統計 1月の米財政収支
2/12 (木)	1月の企業物価指数(日銀 8:50)				1月の中古住宅販売件数 10-12月期の英GDP速報値
2/13 (金)	田村日銀審議委員 神奈川経済同友会における講演	TDB3M 2/16発行 47,000億円	流動性供給 2/16発行 6,500億円	1ヶ月借入 2/20借入 2,977億円	1月の米消費者物価指数 10-12月期のユーロ圏GDP速報値

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
2/9 (月) 日銀予想	600	▲ 2,700	▲ 2,100	国債補完	2,100		2,100	0	TDB3M発行▲47,000 償還43,000
2/10 (火) 弊社予想	500	▲ 3,000	▲ 2,500				0	▲ 2,500	TDB6M発行▲38,000 償還35,000
2/11 (水) 弊社予想			0				0	0	
2/12 (木) 弊社予想	1,000	▲ 2,500	▲ 1,500				0	▲ 1,500	10Y物価連動発行▲2,500
2/13 (金) 弊社予想	500	73,000	73,500				0	73,500	源泉税揚げ、年金定時払い 交付税借入▲13,000 期日10,500
週 間 合 計	2,600	64,800	67,400	—	2,100	0	2,100	69,500	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き堅調な資金調達ニーズが見込まれるため、0.727%近辺での推移が予想されるが、試し取りの影響によりやや上振れることもあり得る。債券レポ GC T/N物のレートは、0.75%前後の水準で推移することが予想される。短国市場は、9日(月)に6M物、13日(金)に3M物入札が予定されている。CP市場は、13日(金)に五・十日の前倒し発行が予定されており、動向が注目される。

主要なイベントは、国内では9日(月)に12月の毎月勤労統計調査速報、12日(木)に1月の企業物価指数、13日(金)に田村日銀審議委員 神奈川経済同友会における講演、海外では、10日(火)に12月の米小売売上高、11日(水)に1月の米雇用統計、1月の米財政収支、12日(木)に1月の中古住宅販売件数、13日(金)に1月の米消費者物価指数、10-12月期のユーロ圏GDP速報値などの公表が予定されている。（※尚、米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。